

## 退任記念 堀口光彦展

彫金の魅力は鑿の痕跡の面白さにつきますと思います。金属の表面に一度つけられた鑿の跡は消し去ることは大変難しく、彫り損じた跡は傷となって最後まで残るのが常であります。「それを景色として活かせるようになれば、一人前の彫金家だ。」とは私が学生の時の教授、山脇洋二先生の教えでした。そんな事を学生に伝えつつ制作した在任中の作品60余点を展示します。彫る、打ち出す、嵌めるという彫金の基礎要素を使いながらも、出来るだけ自由な表現を心がけてきました。

会期 2006年11月2日(木)～11月19日(日)

開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日

会場 東京藝術大学大学美術館 陳列館

入場料 無料

主催 東京藝術大学美術学部 東京藝術大学大学美術館

問合せ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

<http://www.geidai.ac.jp/museum/>



花 1993

### 堀口 光彦 略歴

- 1939 山梨県塩山市生まれ
- 1964 東京藝術大学美術学部工芸科卒業
- 1966 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程工芸(彫金)専攻修了
- 1966 東京藝術大学美術学部工芸科彫金研究室助手  
( 71 非常勤講師 76 助手 86 講師 90 助教授 94 教授 )

### 個展

- 1978 第七画廊(東京)
- 1984 村松画廊(東京)
- 1992 渋谷西武(東京)

### 展覧会

- 1969 現代工芸美術展大賞
- 1970 日展特選
- 1972 現代工芸美術展文部大臣賞
- 1977 日展特選
- 1979 二人展(フォルム画廊) ('88)
- 1987 東京藝術大学100周年記念教官作品展(有楽町アートフォーラム)
- 1995 東京藝術大学工芸科教官作品展(東京藝術大学陳列館)
- 2000 Loft of Alchemist展(ギャラリー・プス) ('02, '04, '06)
- 2003 「工芸の世紀」展(東京藝術大学大学美術館)
- 2005 大邱大学国際交流展(大邱大学美術館)/日韓交流展(ハンガラム美術館)

### パブリック・コレクション

- 東京国立近代美術館, 千葉県立美術館, 東京藝術大学大学美術館
- 九州産業大学美術館, 甲府第一高等学校



Selfportrait on Sunday 1980

展覧会についてのお問合せは下記までお願い致します。

Tel: 050-5525-2438 Fax: 050-5525-2532 E-mail: [takebaya@off.geidai.ac.jp](mailto:takebaya@off.geidai.ac.jp)